骨・内分泌内科（内分泌内科）
Endocrinology

外来受付
2 階 14 番　　TEL.(06) 6645-2311
午前 8 時 30 分～午後 4 時 45 分 [平日]
[初診は完全予約制です]

詳細はこちら

診療科部長、教授
えもと　まさのり
繪本　正憲



専門
内分泌疾患、糖尿病

スタッフ

いまにし　やすお
准教授　**今西　康雄**
【専門】 代謝性骨疾患、骨粗鬆症、くる病、骨軟化症、副甲状腺疾患

副
もりおか　ともあき
准教授　**森岡　与明**
【専門】 内分泌疾患、肥満症、糖尿病

くらじょう　まさふみ
講師　**藏城　雅文**
【専門】 内分泌疾患、高尿酸血症・痛風

ながた　ゆうき
講師　**永田　友貴**
【専門】 内分泌疾患、甲状腺疾患

みき　ゆうや
講師　**三木　祐哉**
【専門】 内分泌疾患、糖尿病

診療科の特徴

骨・内分泌内科（内分泌内科）では、さまざまな内分泌疾患、代謝性骨疾患を受け持っており、最新のエビデンスに基づく高度医療を提供いたします。さらに、これらの疾患は多彩な合併症を有していることが多く、ご紹介頂く患者さんにも多くの病態が合併することが考えられます。当診療科では症例カンファレンスを生活習慣病・糖尿病センター、腎臓内科と合同して行うことにより、内分泌診療以外にも内科全般の病状管理を行い全人的な医療を提供することを心がけています。また、高血圧や高脂血症・肥満等には副腎疾患や甲状腺疾患が隠れていたり、電解質異常にも内分泌疾患が合併していることもあり、注意が必要です。さらに尿酸代謝異常についても対応いたしております。そのような病状でご来院頂いた際には、内分泌疾患の有無についてスクリーニングを行い、必要に応じて入院による精密検査や適切な治療の導入を行っております。また、糖尿病や腎疾患を合併されている場合には、生活習慣病・糖尿病センターや腎臓内科と協調し、最適化された医療をご提供いたします。病状が安定した状態では、地域医療機関との連携により治療を継続することを心がけ、病診連携の確立など地域医療への貢献にも努力しています。

対象疾患

[主力疾患]
・バセドウ病　・橋本病　・甲状腺腫瘍　・副腎腫瘍
・クッシング症候群　・原発性アルドステロン症　・褐色細胞腫
・クッシング病　・先端巨大症　・プラクチノーマ
・下垂体機能低下症　・尿崩症　・骨粗鬆症（原発性・続発性）
・原発性副甲状腺機能亢進症　・二次性副甲状腺機能亢進症
・副甲状腺機能低下症　・低リン血症性くる病・骨軟化症
・骨形成不全　・大理石骨病　・高尿酸血症・痛風

[対応できる疾患]
・MEN1　・MEN2　・インスリノーマ　・下垂体炎
・免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害　・低尿酸血症
・高尿酸血症　・アジソン病
・その他の内分泌疾患（甲状腺、副甲状腺、下垂体、副腎、性腺など）
・骨パジェット病　・低ホスファターゼ症　・その他の代謝性骨疾患

主な入院診療実績

代謝性骨疾患、カルシウム・リン代謝異常症	95 件
副腎疾患	125 件
視床下部・下垂体疾患	116 件
電解質異常	9 件
糖・核酸代謝関連	5 件
その他	26 件

ご紹介時のお願い

初診予約は診療情報提供書（診察予約申込書）に必要事項をご記入の上、地域医療連絡室へ FAX にてお申込みください。